

## 生薬の品質・安全性 細心の注意払って

**Q** 四十四歳、女性、病院薬剤師。最近、漢方薬の副作用について種々の報告があります。実際に漢方薬を使っている医師は副作用をどのように認識しているのでしょうか。

**A** 漢方薬の副作用については誤解が多い。今日使われている漢方薬の安全性が高いことは臨床家としての実感である。しかし薬である以上、漢方薬にも副作用は当然ある。副作用の問題は分けて議論すべきである。

まず第一に漢方薬の素材について。漢方薬は天然物を用いるので、生薬の品質や安全性は細心の注意を払って確保しなければならぬ。

第二は、漢方薬にはその使用についての適

応・不適応がある。漢方治療の体系は西洋医学の治療体系とは異なる。西洋医学的病名に対する一律使用による副作用の中には漢方の専門家には考えられない誤った使用例がある。

第三に、漢方薬は患者の自然治癒力を増強させる作用のものが多く。従って、時に治癒過程で一時的に症状の悪化がみられることがある。

第四は、現在最も注目されている薬剤アレルギーの問題である。小柴胡湯（しょうさいこう）による間質性肺炎の事例などは、漢方医学の論理では予見できないものである。

最後に、西洋薬との相互作用の問題である。これについては未知の部分が多い。医師、薬剤師が協力して、患者の体調の変化に対する十分な目配りを忘れないことが肝要である。